



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 新日本理化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4406 URL <https://www.nj-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 芳樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部長 (氏名) 埜下 太一 TEL 06-6202-6598
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,542	9.7	14	△93.7	176	△56.8	53	△83.3
2022年3月期第1四半期	7,788	34.7	231	272.1	408	132.3	317	130.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 117百万円 (△64.0%) 2022年3月期第1四半期 327百万円 (5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	1.43	—
2022年3月期第1四半期	8.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	39,576	16,910	40.0	425.07
2022年3月期	40,086	16,999	39.8	427.44

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 15,848百万円 2022年3月期 15,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	2.0	800	△33.5	1,000	△37.1	800	△1.4	21.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	37,286,906株	2022年3月期	37,286,906株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,631株	2022年3月期	2,605株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	37,284,288株	2022年3月期1Q	37,285,009株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大を受けた中国主要都市でのロックダウンやウクライナ情勢の悪化などを背景とした、資源・エネルギー価格の高騰やサプライチェーンの混乱に見舞われ、厳しい状況が続きました。わが国経済においては、政府により発出されていたまん延防止等重点措置が全面解除されるなど経済活動正常化に向けた動きがみられた一方、急激な円安の進行などを原因とする広範囲な物価上昇が消費者マインドを悪化させるなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境においては、原油・油脂相場の高騰やサプライチェーンの混乱による原料の調達難に加え、自動車産業の減産などの影響を受け、厳しい事業運営を強いられました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、2021年度よりスタートした中期経営計画に掲げる目標「環境・社会・人(命)に関わる課題に果敢にチャレンジし、価値創造企業を目指す」の達成に向けて取組みを進めております。事業活動における環境負荷を低減させるため、再生可能エネルギーの調達を開始したほか、環境課題へアプローチする分野に開発資源を集中するなど、研究開発プロセスの改革を進めております。2022年6月にはポリオレフィン樹脂のサイクルタイム短縮に貢献し省エネにつながる新たな結晶核剤を開発・上市いたしました。しかしながら、業績面におきましては、原料価格高騰に対応すべく製品価格への転嫁を進めておりますが、原料の調達難と相まって、十分な水準の転嫁に至っておらず、収益性が低下する結果となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、85億4千2百万円（前年同四半期比9.7%増）となり、損益面では、営業利益1千4百万円（前年同四半期比93.7%減）、経常利益1億7千6百万円（前年同四半期比56.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5千3百万円（前年同四半期比83.3%減）となりました。

主要製品の概況は次のとおりであります。

生活産業関連向け製品においては、食品・医薬品向け添加剤及び日用品向けの結晶核剤が堅調に推移したものの、原料の調達難に見舞われたトイレタリー・繊維油剤原料向けアルコール・脂肪酸の販売が低迷しました。しかしながら、原料価格高騰に伴う製品価格の見直しなどの対応を行った結果、売上高は前年を上回りました。

床材や電線被覆材などの建材向け原料である可塑剤製品は、一部原料の調達に苦戦し数量減となりましたが、高騰する原料価格に対応すべく製品価格の改定を行った結果、売上高は前年を上回りました。

自動車産業向け製品においては、自動車の減産の影響を受けましたが、原料価格の高騰による価格改定を実施し、売上高は前年を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前期末比1.3%減、金額で5億9百万円減少の395億7千6百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が減少した影響などにより、前期末比1.9%減、金額で4億1千万円減少の209億1千8百万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券の時価の下落などの影響により前期末比0.5%減、金額で9千9百万円減少の186億5千7百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより前期末比0.5%減、金額で7千1百万円減少の134億7千8百万円となりました。固定負債につきましては長期借入金を返済したことなどにより前期末比3.7%減、金額で3億4千8百万円減少の91億8千8百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が減少したことなどにより前期末比0.5%減、金額で8千9百万円減少の169億1千万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は40.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,495	2,682
受取手形及び売掛金	12,168	12,477
商品及び製品	2,137	2,546
仕掛品	1,419	1,361
原材料及び貯蔵品	1,786	1,482
その他	324	370
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	21,329	20,918
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,281	4,281
その他(純額)	5,651	5,593
有形固定資産合計	9,933	9,874
無形固定資産	33	34
投資その他の資産		
投資有価証券	8,096	8,065
その他	695	684
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	8,790	8,748
固定資産合計	18,757	18,657
資産合計	40,086	39,576

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,965	6,982
短期借入金	2,226	3,138
1年内返済予定の長期借入金	1,629	1,515
未払法人税等	207	53
賞与引当金	278	105
その他	1,242	1,683
流動負債合計	13,549	13,478
固定負債		
長期借入金	6,100	5,760
役員退職慰労引当金	83	81
退職給付に係る負債	1,926	1,913
その他	1,426	1,432
固定負債合計	9,536	9,188
負債合計	23,086	22,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,075	4,075
利益剰余金	4,427	4,293
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,163	14,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,063	1,988
為替換算調整勘定	△297	△175
退職給付に係る調整累計額	7	5
その他の包括利益累計額合計	1,773	1,818
非支配株主持分	1,062	1,061
純資産合計	16,999	16,910
負債純資産合計	40,086	39,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,788	8,542
売上原価	6,397	7,295
売上総利益	1,390	1,247
販売費及び一般管理費	1,159	1,233
営業利益	231	14
営業外収益		
受取配当金	71	81
持分法による投資利益	95	86
為替差益	4	—
その他	16	31
営業外収益合計	188	200
営業外費用		
支払利息	9	12
為替差損	—	19
その他	1	7
営業外費用合計	11	38
経常利益	408	176
特別損失		
投資有価証券評価損	22	23
減損損失	2	—
固定資産除却損	1	—
特別損失合計	26	23
税金等調整前四半期純利益	382	152
法人税、住民税及び事業税	38	41
法人税等調整額	7	38
法人税等合計	45	79
四半期純利益	336	73
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	317	53

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	336	73
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	△74
為替換算調整勘定	△0	6
退職給付に係る調整額	1	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	127	114
その他の包括利益合計	△8	44
四半期包括利益	327	117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	309	97
非支配株主に係る四半期包括利益	18	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。